食品ロス削減（フードバンク）

令和5年7月作成
北海道農政事務所生産経営産業部事業支援課

NPO法人フードバンク　イコロさっぽろ（札幌市）

提供されたたくさんの食品等

フードバンク　イコロさっぽろの皆さん

【組織の概要】

- 団体名：NPO法人フードバンク　イコロさっぽろ
- 所在地：札幌市東区
- 代表者：片岡　有喜子
- 活動人数：66名（ボランティア含む）
- 活動開始時期：2018年
- HP：https://foodbankikorsapporo.themedia.jp
- 北海道フードバンクネットワーク事務局
- 取扱品：加工品（常温）、農産物、卵
- 提供の条件：賞味期限が1か月以上あるもの

◇【団体発足の経緯】

◆代表の片岡さんは、障害を持つ家族がいることから、これまで福祉の力を借りていた。

◆自分にも何か恩返ししたいという思いから、2018年にフードバンク活動を開始した。

◇【活動の概要】

◆食品は、企業等からの持込み、宅配便での提供、フードドライブ等を通して受け取っている。

◆各家庭の事情に合わせてスタッフが食品を厳選し、宅配業者を通して渡している。

【取組む際に生じた課題と対応方法】

◆代替品のない米の需要が高く、供給が少ないため常に在庫が不足している。

→米は購入して配っているが、常に不足している。

◆寄贈された食品を各地に配送するための送料が負担となっている。

→福祉施設等には、施設の送迎車等を利用して引取りに来てもらうなど工夫している。

フードバンクイコロさっぽろの食品取扱いのフロー図

【今後の展望】

◆提供可能な食品が少量であっても、また、定期の提供でなくても大変ありがたいことなので迷わずに寄贈してほしい。

◆「余剰した食品が最後に行き着く先はフードバンクである」という認識が広まってほしい。